

### 33. その他の小児固体腫瘍

×

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん  
※別紙5に入力した内容が反映されています。  
※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
○:あり ×:なし

×

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			掲載されている内容		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法	体外照射	小線源治療	ア http://	イ http://	治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1			状況 実績										
2			状況 実績										
3			状況 実績										
4			状況 実績										
5			状況 実績										

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫